

ほっかいどう DX 促進事業委託業務
公募型プロポーザル企画提案指示書

1 業務名

ほっかいどう DX 促進事業委託業務

2 業務の目的

本道は、全国を上回るスピードで急速に人口減少や少子高齢化が進んでおり、広域分散型の社会構造といった地域特性なども相まって、労働力の不足や地域における医療・福祉・交通・物流の確保、都市との格差などといった課題が顕在化しており、その解決に向けては ICT や AI などといった未来技術を活用した取組をより一層加速させる必要がある。

このため道では、令和 5 年度「ほっかいどうテストフィールド推進事業委託業務」（以下、「テストフィールド事業」）にて、未来技術に関する研究・実証段階にある先進的な事例や企業等の実証ニーズなどの調査を行い、道内のフィールド活用を検討しているところ。

本業務では、これらの調査結果を全道に展開して、道内市町村と技術を持つ民間企業、地域団体等とのマッチングを行い、実証や社会実装に向けた事業をコーディネートし、具体的取組に向けた事業構築を行うことで、本道をテストフィールドとした未来技術に関する取組を促進していく。

3 実施方法

公募型プロポーザル方式による随意契約

4 業務内容

本業務の実施にあたっては、「テストフィールド事業」企画提案指示書を参照すること。

(1) 未来技術を活用した先進事例の展開

ア 地域課題の解決に資する未来技術の先進事例を、道内市町村や民間企業に広く周知するしくみを提案・構築し、情報発信すること。発信する情報は、「テストフィールド事業」で調査した 15 以上の事例のほか、独自調査や募集等によって、事例の充実に努めること。なお、調査・募集する事例や企業の要件は「テストフィールド事業」企画提案指示書「4 業務内容（1）」を参照することとし、情報発信するしくみは、後のマッチングに効果的につながるよう工夫すること。

（事例は現在調査中のため、詳細については当課に問い合わせください。）

イ また、(2) のマッチングイベントを効果的に行うため、「テストフィールド事業」にてモデル構築した 3 件の事業進捗状況や成果について、道内市町村、企業・団体、関係機関などを対象とした報告会を実施すること。なお、開催方法は原則オンラインとする。

(2) マッチングに向けたイベントの企画、開催

ア 「(1) ア」で情報発信した事例に関して、道内市町村と技術を持つ民間企業とのマッチングイベントを開催すること。開催にあたっては、リアル・オンラインを組み合わせ、具体的取組に繋がる効果的な企画や開催方法、開催地域について提案すること。

イ 本業務の目的を踏まえ、参加対象者は道内市町村、企業・団体、学生、有識者などとし、適切なターゲットをイベントに集客できるよう創意工夫を行うこと。

ウ 未来技術に関するソリューションについてリアルに体験できるエリアもしくは機会を設けること。

エ その他、マッチングの成約を高める工夫を行い、道に提示すること。

(3) 共創ワークショップの開催

具体的な事業の創出に向け、AI などの未来技術を活用し地域で抱える課題の分析や解決策を検討する、共創ワークショップを企画・運営し、参加対象者は道内市町村、企業・団体、学生、有識者などとする。

(4) 事業構築・コーディネート支援

<目標 KPI>事業構築（実施）件数 3 件以上

ア (2) のイベント終了後、道内市町村と技術を持つ民間とのマッチングに向けた定期的なフォローや、実証・社会実装に向けた事業全体をコーディネート（ステークホルダー整理、ロードマップ、事業設計など）し、具体的取組に向けた事業の構築または実施を行うこと。

イ その他、(3) 道内市町村と民間企業等との共創により検討された内容について、課題解決に向けた研究開発や実証実験等に取り組めるよう必要な支援を行うこと。更に、具体的取組に向けた事業の構築または実施に努めること。

(5) 自走化に向けたしくみ

本業務終了後もマッチング支援を継続的に実施できるしくみを提案すること。なお、新たに体制を設ける場合は、道内で既に取り組まれている組織体等との棲み分け、または協業するなど整理を行うこと。

(6) 成果報告会の実施

本業務の成果について、道内市町村、企業・団体、関係機関などを対象とした報告会を実施すること。なお、開催方法は原則オンラインとする。

(7) 実施計画書の作成

業務契約後、速やかに業務内容や業務スケジュール、実施体制等を記載した業務処理計画書を作成すること。

なお、計画に変更が生じた場合は、速やかに業務担当員と協議してその指示を仰ぐものとし、必要に応じて業務処理計画書を変更して提出すること。

(8) 成果物

本業務の実施結果について、次の成果物を加工可能な電子データでDVD-R等により委託者に提出すること。

ア 実績報告書（報告用）

マッチングに向けた具体的な支援内容、進捗状況、成果等についてまとめた上で、今後、道内市町村と民間企業等が連携して未来技術を活用した取組を進め、地域の課題解決を図っていくための効果的な施策や手法についてまとめた実績報告書

イ 実績報告書（公開用）

(6) 及び本業務後に行うイベント等において活用できる、マッチング成果等をわかりやすくまとめた報告書

ウ 委託業務に関するデータ

本業務内においてを撮影した動画や写真、実施記録、データ一式

エ 次年度の取組案

マッチングイベントやワークショップでの議論やアウトプットをまとめるとともに、それを踏まえた次年度に向けた具体的取組案を策定すること。

5 委託期間

契約締結日から令和7年(2025年)3月14日(金)まで

6 予算上限額

10,065,000円(消費税及び地方消費税相当額を含む)

※なお、本業務は、国のデジタル田園都市国家構想交付金(令和5年度補正予算)の採択決定前、かつ、令和6年北海道議会第1回定例会の議決前であるため、国の採択の可否や議決結果によっては委託業務の内容及び積算上限額について、変更する場合又は事業が中止になる場合がある。その場合は、道と提案者の双方の協議により提案内容の変更又は契約を行わないことがある。

7 業務上の留意事項

業務内容の詳細については、企画提案の内容を基本として、道と受託者が協議して決定する。

8 提案方法

企画提案指示書に沿った企画提案を、別紙「企画提案書作成要領」に基づきA4判縦長で作成し、必要部数を提出すること。

企画提案書はコピーが可能な用紙を使用し、丁合後、ホチキスやクロステープなどで綴じずにダブルクリップ等で留めること。

9 提出期限

令和6年(2024年)4月19日(金)17:00(必着)

10 提出場所

北海道総合政策部次世代社会戦略局デジタルトランスフォーメーション推進課(担当:川合)

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

電話 011-204-5172(直通)

11 その他

- (1) 企画提案書の作成・提出に係る費用は、提出者の負担とする。
- (2) 企画提案書の採否は、文書で通知する。
- (3) 期限までに企画提案書の提出がない場合は、「参加表明書」の提出があっても参加の意思がないものとみなす。
- (4) 審査に当たっては、企画提案書は匿名とし、別に指示する企画提案者名(A社、B社等)により行うものとする。